

経済・金融概況

[アルゼンチン]

1. 景気概況

7-9 月期の実質 GDP 成長率は前年比▲3.8%（4-6 月期：同▲3.7%）と、2 四半期連続のマイナスであった（第 1 図）。需要項目別に寄与度をみると、政府消費が+0.3%ポイントと僅かに押し上げに寄与したが、個人消費が▲2.0%ポイント、投資が▲1.7%ポイントとなるなど、他の項目は全て押し下げ要因となった。

鉱工業活動指数は今年の初めから前年比でマイナスが続いており、10 月は前年比▲8.0%まで悪化した。建設活動指数も 8 月を除き二桁台のマイナスが続いており、10 月は同▲19.2%となった。消費者信頼感指数も今年 2 月以来、40 台に落ち込んだままである。

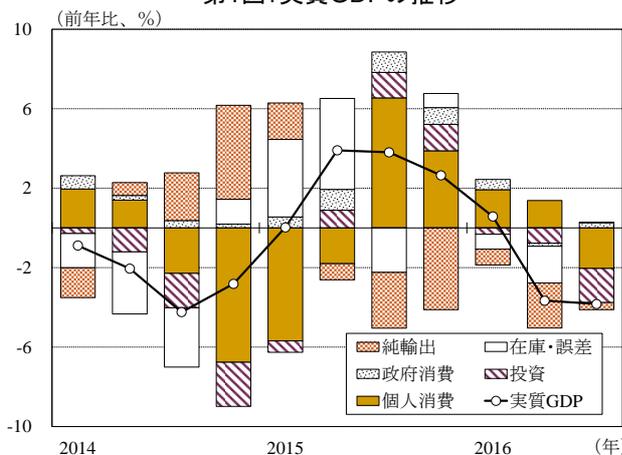
最大の輸出先であるブラジル（輸出全体に占めるシェア：17%）の景気回復が遅れていることから、外需主導による回復の可能性は当面低い。マネーサプライの伸びが鈍化しておりインフレ率の低下が多少は見込まれるが、中央銀行が目標としている 12~17%には及ばず、20%強の高インフレ状態が続く見通しである。2017 年の実質 GDP 成長率は、インフレ率がある程度落ち着き、実質ベースの所得環境が僅かに好転することから、前年比+2.5%とプラス成長を見込むが、本格的な景気回復には至らないとみられる。

2. 物価・雇用

物価：消費者物価上昇率は、天然ガスの助成金撤廃もあり 10 月は前月比+2.4%まで拡大したが、11 月には同+1.6%まで落ち着いた。2016 年は前年比+39.4%で着地する見込みであり、政府のインフレ目標を大きく上回っている。

失業率：失業率は、8 月に僅かに低下したとはいえ、8.7%と高水準にある（第 2 図）。

第1図: 実質GDPの推移



第2図: 失業率の推移

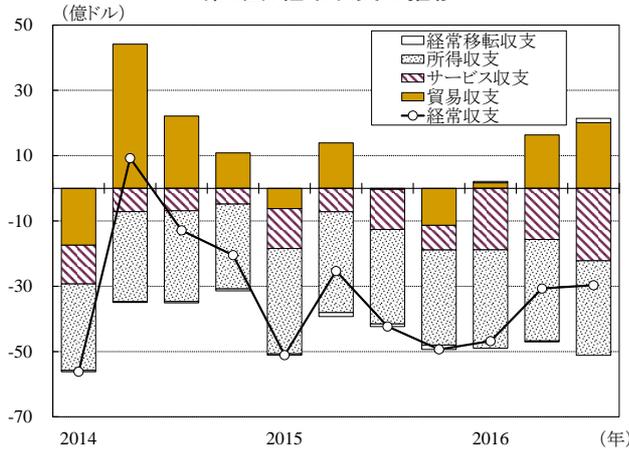


3. 経常収支、外貨準備高

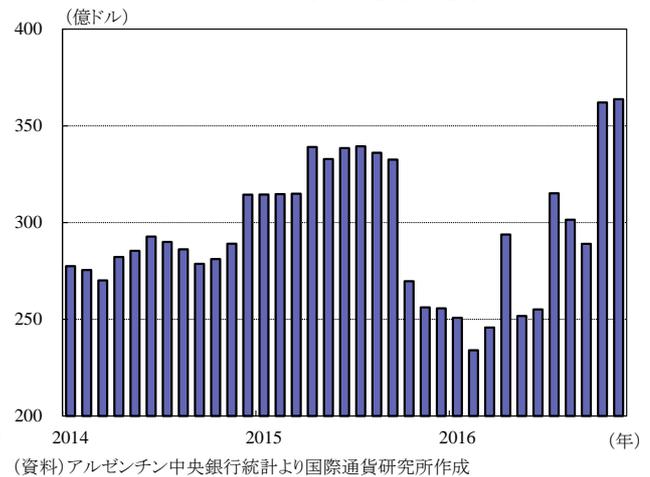
7-9 月期の経常収支は、輸入低迷により貿易黒字は拡大したものの、サービス収支が悪化したため、前期比ほぼ変わらず▲29 億ドルとなった（第 3 図）。

外貨準備高は、輸出の増加や 15 年ぶりの外貨国債の発行などを背景に、10 月以降、水準が切りあがり、11 月末時点では 364 億ドルとなった（第 4 図）。

第3図: 経常収支の推移



第4図: 外貨準備高の推移



4. 金融市場

為替：ペソの対ドル相場は、9 月以降、下落基調にある。米大統領戦後のドル高によって下落スピードも若干速まり、足元は 1 ドル 16 ペソ台で推移している（第 5 図）。

株価：メルバル指数は堅調に上昇し、10 月には 18,000 台に達したが、米大統領選挙後、大幅に下落し、足元では 17,000 前後で推移している（第 6 図）。

第5図: アルゼンチンペソ(対ドル)の推移



第6図: 株価(メルバル指数)の推移



アルゼンチン経済・金融概況

1. 年次

	2013年	2014年	2015年
実質GDP成長率	2.3%	▲2.6%	2.4%
鉱工業活動指数（前年比）	▲0.0%	▲1.8%	-
建設活動指数（前年比）	4.6%	▲0.4%	-
自動車生産台数(千台)	791	617	527
自動車販売台数（千台）	964	614	587
失業率	7.1%	7.3%	4.9%
消費者物価上昇率(年末月・前年比)	11.0%	23.9%	26.7%
(年平均)	10.6%	-	-
輸出(FOB)(億ドル)	760	684	568
(前年比)	▲5.0%	▲9.9%	▲17.0%
輸入(CIF)(億ドル)	744	652	598
(前年比)	9.5%	▲12.4%	▲8.4%
貿易収支(億ドル)	15	32	▲30
対外準備(億ドル)（年末）	306	314	256
ベースマネー(億ペソ)（年末）	3,772	4,626	6,239
対民間非金融部門貸出量(億ペソ)(年末月)	5,085	6,167	8,385
(前年比)	31.2%	21.3%	36.0%
経常収支(億ドル)	▲121	▲80	▲159
株価指数（メルバル指数）（年末）	5,391	8,579	11,675
対米ドル為替相場（年末）	6.5180	8.4645	12.9450

2. 月次

	16/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実質GDP成長率(前年比)	┌	▲3.7%	┐	┌	▲3.8%	┐	┌	-	┐
鉱工業活動指数(前年比)	▲5.2%	▲4.5%	▲6.4%	▲7.9%	▲5.7%	▲7.3%	▲8.0%	-	-
建設活動指数(前年比)	▲24.1%	▲12.9%	▲19.6%	▲23.1%	▲3.7%	▲13.1%	▲19.2%	-	-
自動車生産台数（千台）	44	40	42	38	44	43	38	47	-
自動車販売台数（千台）	61	60	63	53	64	68	56	62	-
失業率	8.7%	9.2%	9.0%	8.9%	8.7%	-	-	-	-
消費者物価上昇率(前月比)	発表停止中	4.2%	3.1%	2.0%	0.2%	1.1%	2.4%	1.6%	-
輸出(FOB)（億ドル）	47	54	53	50	58	50	47	48	-
(前年比)	▲8.0%	3.2%	▲12.6%	▲10.6%	12.2%	▲2.8%	▲6.4%	20.5%	-
輸入(CIF)（億ドル）	44	49	51	46	51	47	48	47	-
(前年比)	▲11.7%	▲2.1%	▲11.3%	▲18.0%	▲7.1%	▲15.2%	▲2.1%	▲0.3%	-
貿易収支(億ドル)	4	5	2	3	7	3	▲1	1	-
対外準備(億ドル)	294	252	255	315	301	289	362	364	-
ベースマネー(億ペソ)	5,726	5,762	6,312	6,611	6,797	6,827	6,742	7,167	-
対民間非金融部門貸出量(億ペソ)	8,784	8,987	9,235	9,334	9,501	9,770	10,081	-	-
経常収支(億ドル)	┌	▲31	┐	┌	▲30	┐	┌	-	┐
株価指数（メルバル指数）（月末）	13,724	12,682	14,683	15,804	15,649	16,676	17,610	17,442	-
対米ドル為替相場(月末)	14.2615	14.0038	14.9363	15.0625	14.8975	15.2560	15.1763	15.8590	-

(資料)アルゼンチン中銀、国家統計センサス局、経済省、Thomson Reuters Datastreamより国際通貨研究所作成

照会先：国際通貨研究所 佐久間 浩司 koji_sakuma@iima.or.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。